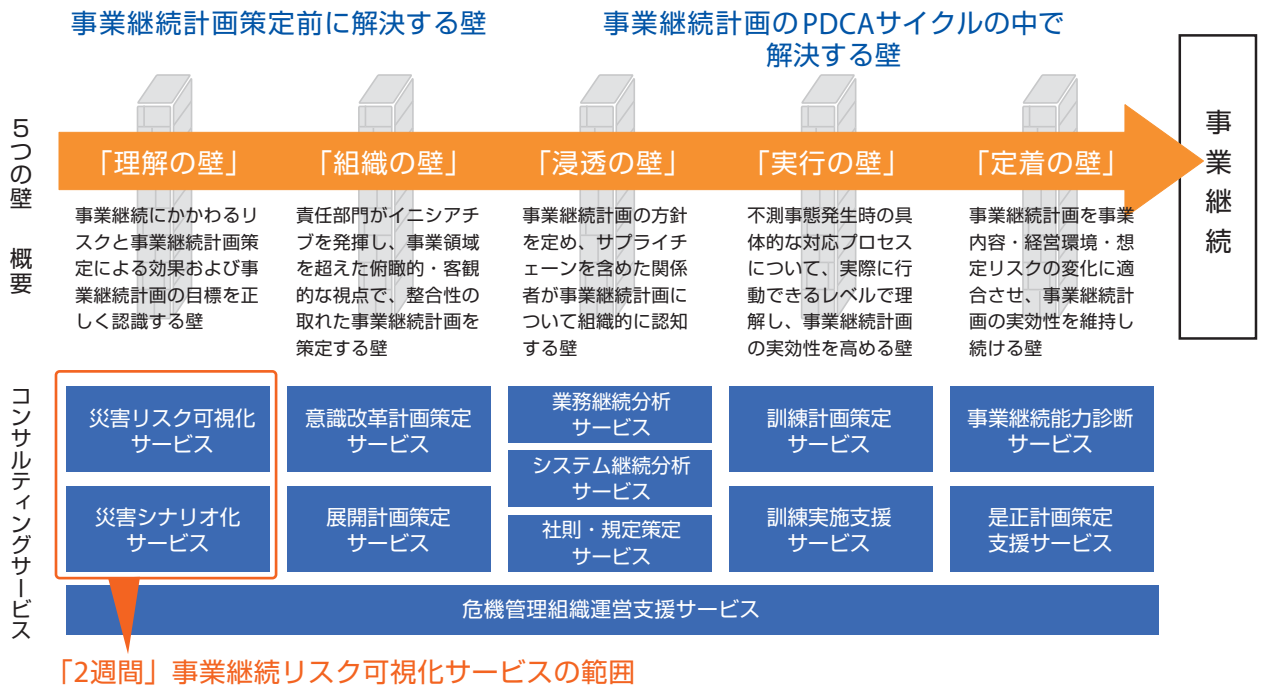


「2週間」事業継続リスク可視化サービス

2011年3月に発生した東日本大震災により、災害に対する十分な備えへの重要性が再認識されています。直接被害を受けなかった企業や拠点においても、早急にリスクの分析や優先順位を明確にした対策が求められています。アビームコンサルティングは、一日でも早くリスクを認識して対策を検討できるよう、「2週間」で完了する事業継続リスク可視化サービスを提供いたします。

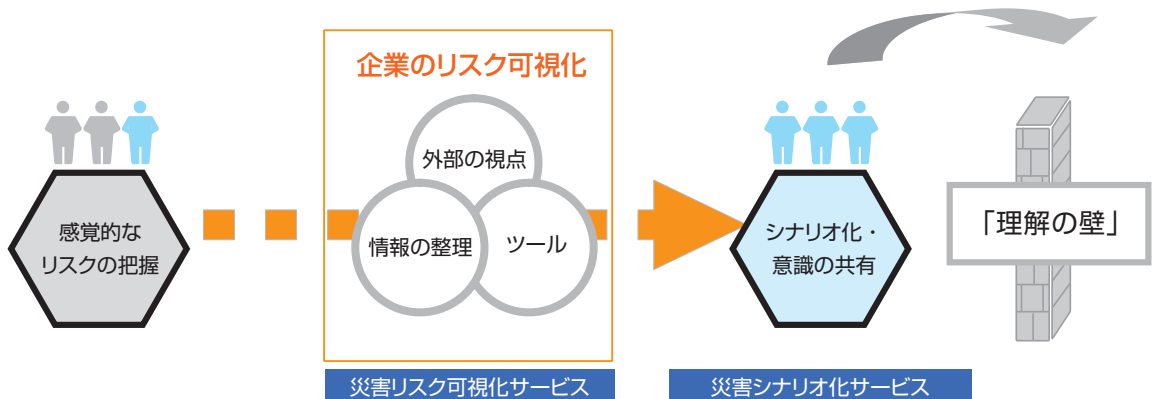
事業継続計画策定支援の全体像

事業を継続するためには、以下の5つの壁を乗り越え、必要な施策を実現していくことが重要となります。アビームコンサルティングは、事業継続にかかわるすべてのコンサルティングサービスを提供しており、企業における事業継続の理解から定着まで、一貫した実現性の高い事業継続計画を提案します。「2週間」事業継続リスク可視化サービスでは、「理解の壁」を乗り越えて事業継続の第一歩となるよう、災害リスク可視化と災害シナリオ化を実施します。



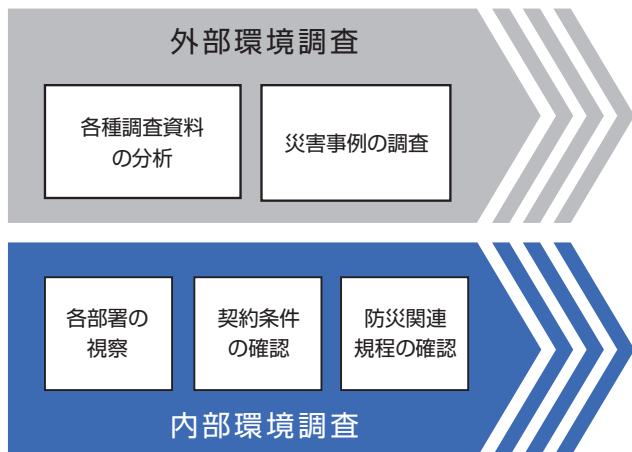
「2週間」事業継続リスク可視化サービスの位置づけ

「2週間」事業継続リスク可視化支援サービスでは、アビームコンサルティングの事業継続計画策定の経験およびノウハウをもとに構築した調査フレームワークを用いて、社員出社不能・個別業務停止・個別システム停止などが事業全体へ及ぼす影響を可視化します。その結果、部門の枠を超えて、組織全体のリスクと事業継続に対する意識が共有され、組織全体の事業継続計画の目標を正しく認識することができます。



災害リスク可視化サービスの特徴

主に経営者が事業継続計画の必要性を理解できるよう、災害時の外部環境・内部環境を調査し、考慮すべき災害リスクを可視化します。



考慮すべき災害リスクの可視化



地震によるゆれの被害や液状化、地すべりなどの被害だけではなく、災害時におけるオフィスやデータセンターにおける被害想定や社員・協力会社の参集状況を把握できます。

災害シナリオ化サービスの特徴

分析した事業全体のリスクは、社員がすぐに活用できるよう、図表やストーリーを用いて整理します。



スピーディーなリスク把握

ABeamコンサルティングでは、独自の調査フレームワーク活用により、調査から結果提供までを2週間で実施します。

